

# クラシックカーの輝きを永く広く伝えたい 自動車修理・保全の スペシャリスト

サファリモーターズ



「品川クラシックカーレビュー 伊港南」の様様

しても積載した車輛には傷一つ付けない特殊なトラックが活躍し、安全対策も抜かりない。

全日本ダットサン会の会長でもある佐々木社長は、一台でも多くの「ダットサン」ブランド車を動態保存することにこだわりを持つ。春と秋には、品川駅港南口前にて「クラシックカーレビュー 伊港南」を、警視庁高輪署の交通安全イベントと合同開催している。イベント時には、交通安全を呼びかける警察署長やアイドルとともに数多くのクラシックカーが街をパレードする。名車の数々が放つ独特の存在感が印象的だ。

佐々木社長は、「車は愛情で動くもの」という創業当初からの社訓をお客様の想いに重ね、大切にしている。「年代を経てこそ際立ってくる名車たちの輝きを再現し、その魅力を伝えていきたい」と心をこめる。

サファリモーターズ(港区港南、佐々木徳治郎社長、03・3472・4721、<http://www.safarimotors.jp>)は、自動車の一般整備を手がけるのももちろん、「旧車」の修理・保全を行う、いわゆる「レストア」のスペシャリストである。長年培ったノウハウから車検や修理の際に生じるさまざまな問題を解決し、クラシックカーオーナーの大きな不安要素を取除く。

レストアの作業は、カタログや図面、写真や雑誌など販売当時の資料から車の状態を詳しく調査することから始め、既に生産されていない部品は、修理の過程で一つひとつ作製する。同社では、過去40年以上にわたる実績・経験をもとに、大手広告代理店や自動車メーカーから多数のクラシックカー展示依頼を請け負っており、日産自動車保有する約400台のクラシックカーのメンテナンスも任されている。全国各地へ移動が必要な際は、万が一横転



年代を重ねた名車の醸し出す重厚さ